プロトコール名 胃癌 (短)SP+ハーセプチン療法

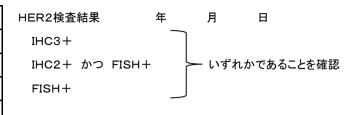
適応 HER2過剰発現が確認された切除不能進行・再発胃癌

条件 入院が困難な症例に限る

投与期間 2週間投与、1週間休薬 不応まで繰り返す

投与計画

薬剤名	基準量		
ハーセプチン	初回 8 mg/kg		
	以降 6 mg/kg		
ランダ	60 mg/m ²		
TS-1	下記参照		



●TS-1 1日2回朝夕食後 (Day1-14)

体表面積<1. 25m² 40mg/回

1. 25m² ≤ 体表面積 < 1. 50m² 50mg/回

1. 50m² ≤ 体表面積 60mg/回

- ①ソルデム3A 500ml+硫酸Mg 0.4A(1hr)
- ②生食250ml+ハーセプチン 6mg/kg(初回8mg/kg)(*初回90min、2回目以降30minに短縮可)
- ③グラニセトロン1B+オルガドロン4A(15min)
- ④生食500ml+ランダ 60mg/m2 (2hr)
- ⑤ソルデム3A 500ml+フロセミド20mg 1A(1hr)
- ⑤生食500ml (1hr)

硫酸Mg	ハーセプチン	グラニセトロン	ランダ	フロセミド	生食500ml	
ソルデム3A 500ml	生食500ml	オルガドロン	生食500ml	ソルデム3A 500ml		
1時間	*	15分	2時間	1時間	1時間	

ランダは500mL以上の生食で希釈すること

投与前に心エコー検査を実施し、LVEFの測定をおこなうこと。 投与中も定期的に心機能の確認をすること。

評価等で中断した後に再開する場合にはハーセプチンの再ローディングをおこなうこと。継続投与中(採血データ不良、祝日等による延期)であれば再ローディングはおこなわない。

●休薬・減量基準

・腎機能に応じて、TS-1及びランダの減量をおこなうこと

Ccr(mL/min)	80以上	60以上80未満	50未満
投与量	初回基準量	初回基準量	使用経験なし

※必要に応じて1段階減量